

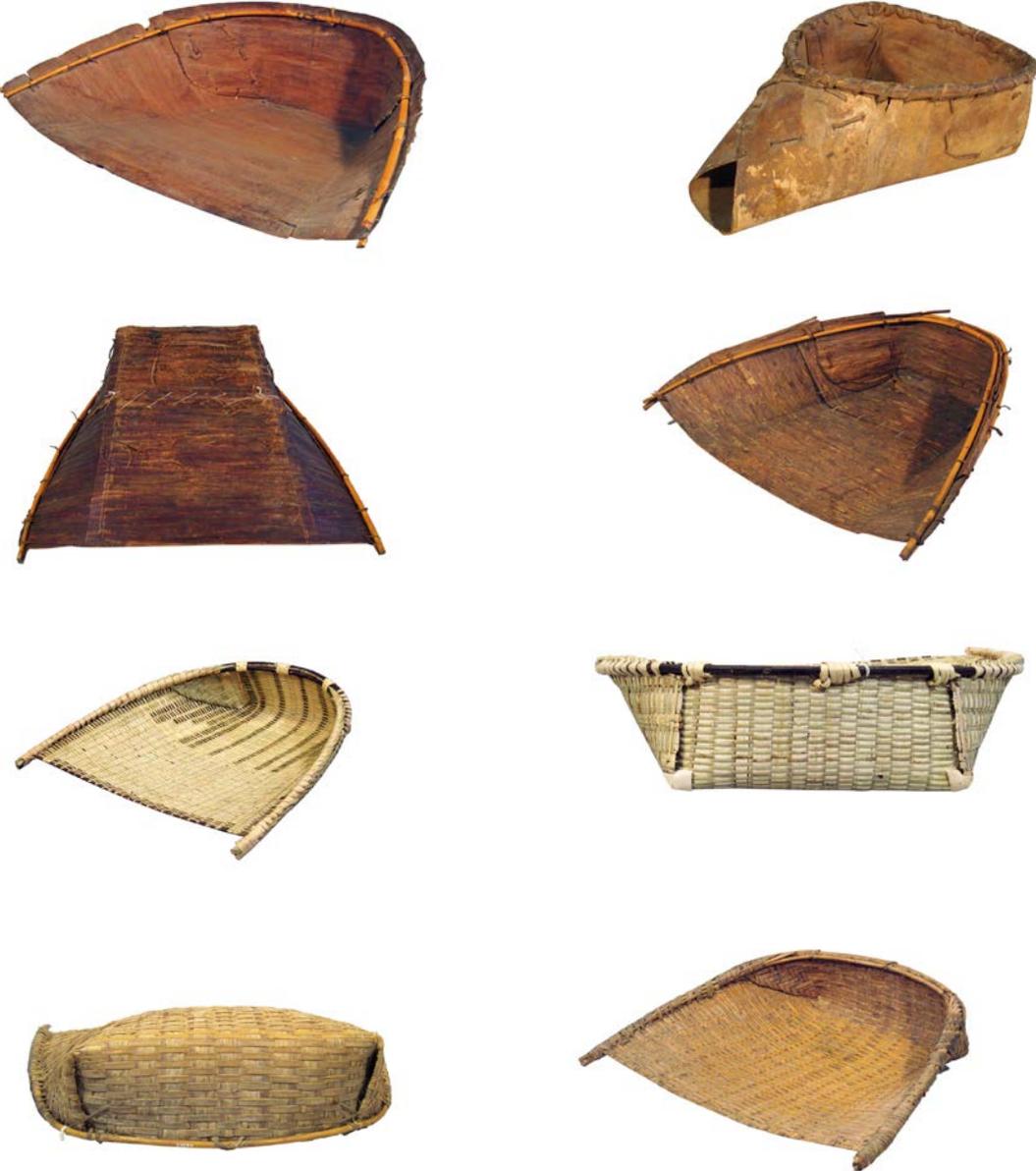
ふくしまの森林文化調査カード

No.17

県 HP公開の可否 (  可 ・ 否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) ふくしまの箕	(ふりがな) ふくしまのみ	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	樹皮の箕とフジと竹の箕		
伝承地域	会津、南会津一円		
由来(年代)	—		
内容	<p>ふくしま県内の箕(み)は特徴的な分布をしている。広く分布する竹箕とかシノ箕と呼ばれるフジツルからとった丈夫な繊維と竹や篠竹を使って編みあげる箕。これは熟練の職人仕事になる。フジは山林に分け入り採集する。一方、南会津などでは一般的に皮箕と呼ばれる箕が使われてきた。サワグルミという名のとおり水辺に生えるクルミの木を皮を剥いで折り返して作るものでまれにケヤキの樹皮も使われる。サワグルミの樹皮はかつては蚕を飼育する蚕座としても利用されていた。</p> <p>ふくしまの箕の樹皮は、栽培されたものではなく、山野に素材を求める採集により得たものである。また、竹とフジツルをゴザ網にしたもの、一枚の樹皮を折り曲げたものと全く異なる材質から出来ているが、その構造は共通している。チリトリ型とも言われるように片方に開いた形をしているが、どちらも閉じたところは素材を折り返して縫い上げてある。南会津の只見の箕は皮箕の分布の中に竹箕が存在している。それは峠を越えた新潟との交流の影響らしい。素材を与えてくれる自然環境が樹皮を利用する皮箕の存在を支えていると考えるならば、只見の箕はそこに情報の流入により文化の影響があるという例として見ることもできるだろう。</p>		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	福島県立博物館 (Tel:0242-28-6000) 奥会津博物館 (Tel:0241-66-3077) 只見町教育委員会 (Tel:0241-82-5320) 二本松市教育委員会 (Tel:0243-55-5154)		

【フリーフォーマット】

キーワード		
◇箕(み)	箕(み)は、穀物の中に入れ、あおり(上に投げ上げるような動作)、ゴミなどの比重の軽いものを分離する農具。素材としては竹や木の皮が利用されてきた。	
		
奥会津博物館	ケヤキ箕	ジョウゴ箕
	皮箕の裏側	サワグルミの皮箕
二本松市太田地区	シノ箕	シノ箕の折り返し部分
只見	竹箕の折り返し部分	竹箕